



当たり前と思っていたことが

全国的に、コロナウイルス新規感染者数が激減し、社会生活が活発に動き始めてきました。

学校でも、10月23日(土)に運動会を半日の日程で開催しました。以前の運動会から種目数を減らして、徒競走、リレー、表現を中心とした内容としましたが、子供たちはそれぞれの種目で一生懸命、競技や演技を行い、参観の保護者の皆様からも温かい応援をいただきました。PTA役員やPTAOBの方々にも海陽中駐車場の対応や参観者受付等で運営の協力をいただき、大変ありがたかったです。運動会閉会後のテントの片付け等にもたくさん保護者の皆様のご協力を得ることができ、おかげさまで予定より早い時間で片付け終わることができました。半日の運動会はどん

な感じかな、と心配もありましたが、子供たちの頑張りとお様のご協力のおかげで、よい運動会ができたと思います。その翌週の10月29日(金)から30日(土)にかけては、6年生が1泊2日で長崎への修学旅行に出かけました。好天に恵まれ、現地での平和学習や歴史学習をしっかりと行うことができました。

また、5年生は11月10日(水)から1泊2日で集団宿泊学習に出かけ、阿蘇の雄大な自然の中で体験活動や火山博物館での学習等を行いました。小学校での初めての宿泊体験で、よい思い出をつくることができましたのではないのでしょうか。他の学年もいろいろな校外学習を実施したり、今後計画したりしています。

どの行事も、これまでは当たり前に行えるものだと思っ
ていましたが、実は決してそうではなかったのだということ
を思い知らされている昨今
です。いろいろな行事や教育
活動が、計画どおり実施でき

ることに対して、感謝の気持ち
を持たねばならないと、つ
くづく感じています。

ここ数年、熊本県下は、阿蘇
山の噴火、熊本地震、豪雨災害
と、大きな自然災害を何度も
経験し、さらに全世界でのコ
ロナ禍と、有事の連続です。有
事を経験することで、平時の
有り難さにあらためて気づか
されます。何気ない、平穏な毎
日の連続が、どれほど幸せな
ことでしょうか。あれも、これも
と欲張るのはやめにしよう、
と思ったりもします。

さて、世の中は随分落ち着
いてきました。しかし、ここで
みんなが油断すると、また次
の波がやってきます。海外で
は、あらたな流行の波に襲わ
れている国もあります。社会
の活動は回さないといいませ
んが、現状は以前と同じでは
ありません。感染予防に関す
る一人一人の意識は、これま
でと同じように高めておかな
ければなりません。そうしな
いと、今できていることが、再
びできなくなってしまうです。

地域との協働活動

本校の今年度教育目標は
「地域に学び、地域に伝える
児童の育成」です。前項で、教
育活動が予定どおりにできる
ようになってきた、と書きま
したが、地域の皆さんの教育
力を学校で発揮していただく
活動もその一つです。今
月2日(火)には、4年生が地
域のクリーン作戦に出かけま
したが、区長さんはじめ多く
の地域の皆さんや保護者の皆
さんのご協力をいただきました。
11日(木)には、元気づ
くり委員会の皆さんのご指導
のもと、1年生がチューリッ
プの球根とパンジーの苗を一
人一鉢で植えました。丸付け
ボランティアの皆さんにも来
校していただけるようになり
ました。新しい協働活動とし
て、エコパートナーあらか
との協働で、家庭から出る食
用廃油の回収活動も始めてい
ます。毎月1日から7日(土日
は除く)の期日で集めますの
で、使用済み食用油がありま
したらご協力お願いします。